



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月25日

我孫子市小中一貫教育だより
第350号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「職業人講話」

久寺家中学校の1年生で Abi - キャリア「職業人講話」の授業が行われました。久寺家中学校では、1・2年生で職業調べを行い、学習する意味や自分の適性について考えることで、3年生への進路学習へとつなげています。今日は、千葉県の建設業について学び、生徒自身の職業観を深めていくことが目的です。

我孫子市にある上村建設工業（株）と柏市にある会田電業（株）という、地域にある会社の方を講師に招き話を聞きました。建設業とはという内容と現場監督、空調衛生工事、とび職人、電気工事、造園工事の5種類の仕事内容について詳しく学びました。写真や動画を見ながら、幼稚園や小学校、水の館など自分たちの身近にある施設がどのように建設されたのか説明してもらいました。また、5つの職業の特徴、必要な技術や資格について話を聞き、仕事にもそれぞれの個性や異なるやりがいが存在することを理解しました。質疑応答では、中学校で学んでいる教科に関する学習や人と関わるためのコミュニケーション能力、美術的な感性などが仕事につながっていくことを改めて感じる時間となりました。

自分自身の個性が、将来どのように活かされていくのか、自分の興味のある職業にはどのような資格や能力が必要なのか真剣に考え、今の生き方を見つめるきっかけとなる授業でした。



Abi-キャリア つながる 広がる 支え合う「昔遊びをしよう」

並木小学校の1年生で Abi - キャリアの授業が行われました。社会福祉協議会と連携し、中学校区オリジナルカリキュラムである福祉に関する授業として「つながる 広がる 支え合う」をテーマに「昔遊びをしよう！」という題材での出前授業を実施しました。

体育館には、児童約50名と40名を超えるボランティアスタッフが集いました。児童の進行で始めの会を行いました。7つのブースについて説明を聞き、一番興味のあるブースから昔遊び体験がスタートです。約1時間、児童は自分の興味関心に沿って自由に移動し、夢中になって遊びました。全力で体を動かす子、できることを教えて得意気な子、誉められ嬉しそうなお子。スタッフのみなさんも、そんな子ども達と一緒に童心に戻り、生き生きとした表情でした。



終わり会では、児童代表の感想発表と全員からお礼の挨拶と歌のプレゼントがありました。大きな声で一斉懸命歌う様子にスタッフのみなさんも一緒に拍子をとったり、「かわいいねー。」と呟いたりしていました。

授業を通し楽しい体験だけでなく、お互いに顔を知り新しい関係を築きコミュニケーションをとることで社会性を育んだり、誉められ自己肯定感を高めたりすることができました。地域の方々にも喜んでもらうという地域貢献としても意味を持つ授業でした。